

入選作【一般の部】高田菲路選

《優秀句》

武蔵野や風さはさはと独歩の忌 茨城県 永盛けい子

《優秀句》

秋晴やスマホに詰める旅の景 静岡県 山田 畦道

宿題ごとと孫を預かる夏休み 滋賀県 葛城 巖

日焼の子笑へばさらに黒くなる 兵庫県 山口 弘子

海境に片脚あづけ虹立てり 栃木県 平野 暢行

礼文へとかかる銀河の濃かりけり 石川県 松本 松魚

三日月をマストにかけて船出かな 大阪府 山田ひろぞう

万緑の深さに濡れし摩崖仏 三重県 西澤与志子

毛を脱ぎて羊ひと声涼しけれ 福島県 斎藤 正道

行くほどに風の花野となりにけり 埼玉県 小林カヨ子

入選作【一般の部】中谷のぶ選

《優秀句》

雲流れ雲又湧きて大花野 兵庫県 向田 康江

《優秀句》

一徹に生きて悔なし月今宵 愛媛県 近藤 絹子

おほかたは記憶のかなた天の川 奈良県 堀ノ内和夫

穏やかに流れる日々よ夏椿 兵庫県 衣畑スミ子

島の秋動かしてゐる瀬戸の風 福岡県 吉富 莞峰

それぞれにドラマがありし敬老日 兵庫県 平岡 啓子

風薫る思い出たどる年となり 兵庫県 天野すて女

年老ひても生きる力や春耕す 岐阜県 白木 格

百幹の青の世界や竹の春 香川県 原 道子

丹誠を掌に観る今年米 兵庫県 菅本 幸子

入選作【一般の部】稲山忠利選

〔優秀句〕

水仙郷太平洋を見はるかす 兵庫県 天川 和子

〔優秀句〕

灯火親し罫線の無き書簡箋 茨城県 永盛けい子

赴任女医島あげて待つ鱈東風 佐賀県 醉 歩

ふくさのごと開く紫紺の花菖蒲 兵庫県 堀毛美代子

銅鐸の鳴りし日遙か島の秋 兵庫県 今井 文代

芒原夕日溢れてをりにけり 大阪府 米澤 悦子

山家みな早寝早起き蓼の花 千葉県 加藤 義秋

火の玉の落ちて線香花火かな 奈良県 和田 康

桔梗や折紙の箱ひらくやう 愛知県 小出 眞澄

水引草一粒づつに日のひかり 岡山県 安藤 加代

入選作【一般の部】正井良徳選

〔優秀句〕

先頭は田植機けさの通学路 兵庫県 堀田 英夫

〔優秀句〕

二の腕を光の中へ更衣 茨城県 菅谷 勝彦

土の香を叩き消したるはたた神 兵庫県 矢田 勝子

蜻蛉の次の命へ打つ水辺 兵庫県 英賀美千代

名月や砂漠を知らぬ駱駝の子 兵庫県 有子山俊之

母のせしやうに門火を母に焚く 千葉県 樫本聖游子

黒鯛の島引つ張つて釣られけり 奈良県 本谷眞治郎

掬はるる金魚の影は水を蹴り 神奈川県 渡辺 一充

神の島闇に沈めて虫時雨 京都府 宮本美恵子

殿は摘みつつ来る子大花野 大阪府 杉山千恵子

入選作【一般の部】三根香南選

《優秀句》

昼寝してゴーヤに似たる子が並ぶ 埼玉県 渡邊 照夫

《優秀句》

母のせしやうに門火を母に焚く 千葉県 樫本聖游子

末社まで千木の威糺す神の留守 兵庫県 高野 さち

手の平の塩へ土用の牛の舌 佐賀県 醉 歩

二の腕を光の中へ更衣 茨城県 菅谷 勝彦

夜濯ぎや明日決戦のユニホーム 香川県 内田 房恵

百軒をひとつにまとめ在祭 徳島県 田野 利明

世界地図古りし教室小鳥来る 愛知県 馬場ひろみ

梅雨晴の雲居はるかに播磨灘 兵庫県 泉 栄子

単線の軋み吸いこむ青田かな 奈良県 中 博司

入選作【一般の部】木下圭子選

《優秀句》

長き夜に語り継ぎたる青嵐忌 兵庫県 正本富紗子

《優秀句》

卯浪立つ指呼におのころ島見えて 兵庫県 井浪 千明

国生みの刈田に鷺の降り立てり 兵庫県 朝野 茂実

われなりに青嵐語りし堂涼し 山梨県 小林 利典

父と子の漁網干しゐる夏の昼 愛知県 小野 薫

生鱧や海の淡路に在らばこそ 兵庫県 木村喜代見

偉さふに新蕎麦啜る次男坊 愛知県 水野 大雅

秋遍路鈴の音つれて遠ざかる 兵庫県 大杉 恵子

城跡に並びし句碑や風薫る 大阪府 古田 小春

盆の月残して漁港寝しづまる 埼玉県 増田 信雄